

The letters 'SOS' are rendered in a large, white, sans-serif font. Each letter is filled with a different nature-themed image: the 'S' shows a close-up of a bird's beak, the first 'O' shows a dense forest, and the second 'O' shows a close-up of a bird's eye. The background of the entire image is a savanna landscape with a large acacia tree in the center and a rhinoceros's head in the foreground on the right.

SOS

SAVE OUR SPECIES

SAVE  
OUR  
SPECIES.

生物多様性保全 SOS プログラムのご案内

A young girl with short dark hair is shown in profile on the left, looking towards a rhinoceros on the right. They are in a savanna landscape with a large acacia tree in the background under a clear blue sky. The text "SAVE OUR SELVES." is overlaid in the center in a white, sans-serif font.

SAVE  
OUR  
SELVES.

地球上の多くの生物が驚くべき勢いで姿を消しつつあり、人類の経済、文化、暮らしの基盤そのものが脅かされています。過去 50 年間に、人類の活動は歴史上のどの 50 年間よりも急激かつ広範囲な変化を生態系にもたらしました。その結果、現在、数千もの動植物種が絶滅の危機に瀕しており、私たち人類にとっても壊滅的な影響を意味しています。

分類別に見ると、哺乳類では 4 種に 1 種、鳥類では 8 種に 1 種、両生類では 3 種に 1 種、珊瑚では 3 種に 1 種が、自然界で絶滅の危機に瀕しています。

» 私たち自身のために、地球のために、この危機にどう対応しますか？  
ご協力をお待ちしています

#### クロサイ

学名 : *Diceros bicornis*

現状 : 絶滅危惧 IA 類

脅威 : 角を目的とした密猟





# SAVE OUR SPECIES. SAVE OUR SELVES.

自然界で消滅した種は永遠に失われてしまいます。国際自然保護連合 (IUCN) の 2009 年版レッドリストによると、875 種の動植物がすでに絶滅もしくは野生で絶滅の状態にあり、さらに 17,291 種が野生で絶滅するおそれが極めて高いことがわかっています。しかし、これは氷山の一角にすぎません。種の消滅は通常の 100 ~ 1000 倍ものペースで進んでおり、地球規模の気候変動などの脅威によって生物多様性の喪失はさらに加速すると思われます。

これほど多くの生物種が危機に直面していることは、私たち人類の未来にとっても不吉な前兆です。健全で多様な種個体群がどれだけあるかは、人類が、地球、そして究極的には私たち自身の健康と幸福をどれだけ維持管理できているかを示す重要な指標です。生物多様性は、林業、漁業、農業を支え、人間の生活の拠り所となる重要な役割を果たしており、その役割は食料、燃料、薬品にとどまらず、大気や水の浄化、土壌浸食の防止、気候の調節、農作物の受粉、衣服の材料などにも及びます。さらに、自然界が持つ文化的、美的、精神的な価値は、値段のつけようのない貴重なものです。

何も行動を起こさなければ、私たちにとっての基本的な経済保障が損なわれ、私たちの生活——そして私たちの存在までも——が直接的に脅かされることになります。

何も行動を起こさないという選択肢はありません。

## キタイワトビペンギン

学名: *Eudyptes moseleyi*

現状: 絶滅危惧 IB 類

脅威: エコツーリズムや魚釣りによる乱獲と汚染





## 私たちが進むべき道とは

この危機に目覚めることができれば、希望を持ち、良いニュースを期待することができます。保全科学は有効であり、種の回復は可能なのです。種の保全の専門家は、どのような対策をどこで講じればよいか理解を深めています。これまでも絶滅の淵から救われた動植物は数多く存在しているのです。

戦略的に実施されたアクションの結果、国際自然保護連合は、2008年に40の生物種について絶滅の危機レベルを改善しました。

しかし、現在も数千種という莫大な数の動植物が危機に瀕しており、系統だった持続可能な活動を行うには十分な資金がない状態です。

種の保全活動は厳しい資金不足の状態にあり、他の政治的重点分野と比べるといっそう明白です。しかし、私たち人類が生存していくための拠り所となる枠組みを提供している生物種と生態系を救うことよりも急を要するものなどあるのでしょうか？

SOS (Save Our Species) は、生物多様性の喪失という困難な課題に対し、危機に見合った規模でかつてないほどの人的エネルギーと資本を投入し、官民セクターが結集してグローバルに取り組もうというプログラムです。

### エクアドルヤドクガエル

学名：*Epipedobates tricolor*

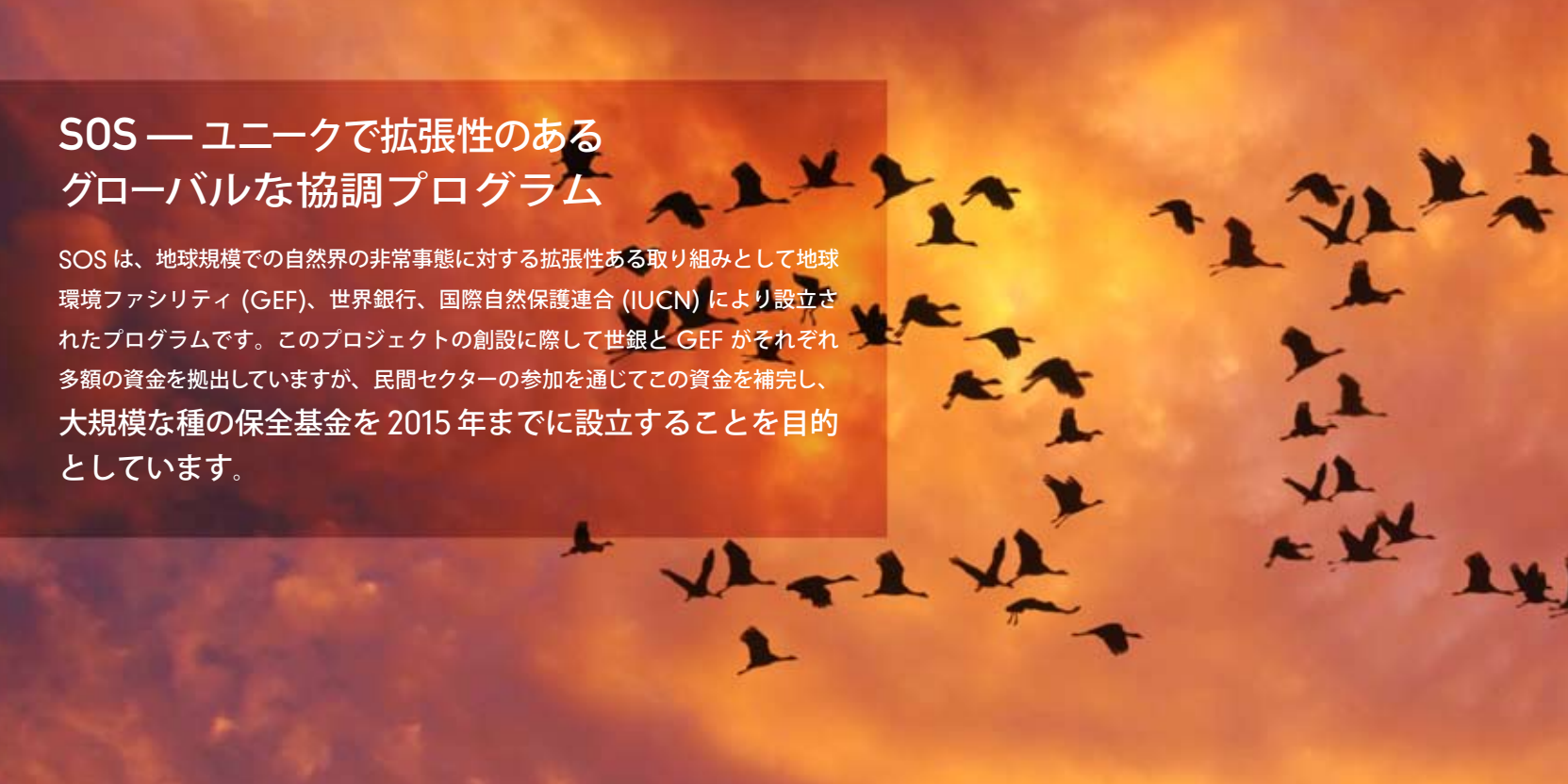
現状：絶滅危惧 IB 類

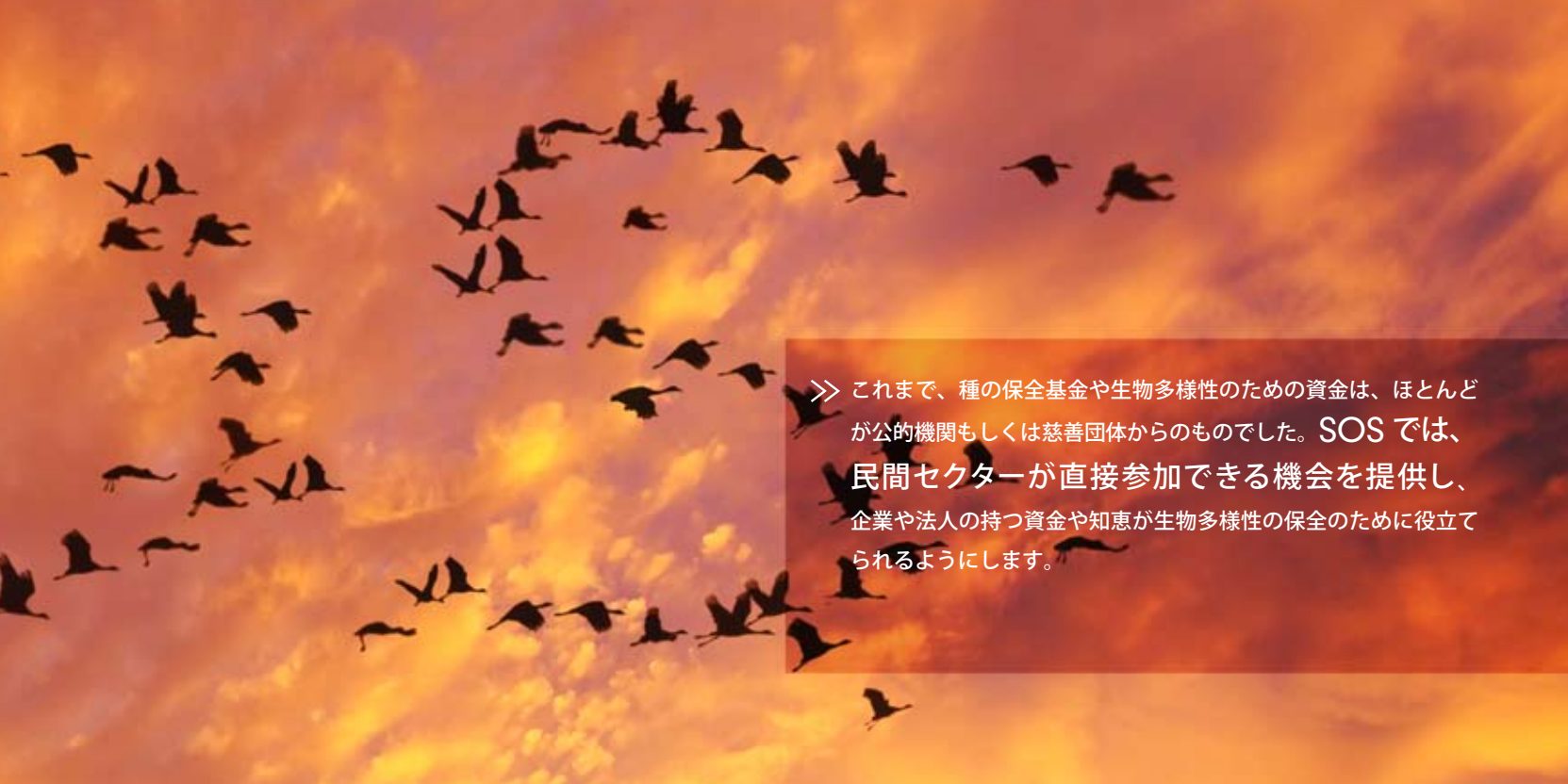
脅威：農業公害および生息地の消失



## SOS — ユニークで拡張性のある グローバルな協調プログラム

SOS は、地球規模での自然界の非常事態に対する拡張性ある取り組みとして地球環境ファシリティ (GEF)、世界銀行、国際自然保護連合 (IUCN) により設立されたプログラムです。このプロジェクトの創設に際して世銀と GEF がそれぞれ多額の資金を拠出していますが、民間セクターの参加を通じてこの資金を補完し、大規模な種の保全基金を 2015 年までに設立することを目的としています。



A large flock of birds, possibly cranes, is flying in a circular pattern against a vibrant sunset sky. The sky is filled with warm orange and yellow hues, with soft clouds catching the light. The birds are silhouetted against the bright background, creating a striking visual effect. The overall mood is one of hope and movement.

>> これまで、種の保全基金や生物多様性のための資金は、ほとんどが公的機関もしくは慈善団体からのものでした。SOSでは、**民間セクターが直接参加できる機会を提供し、**企業や法人の持つ資金や知恵が生物多様性の保全のために役立てられるようにします。



## 現地での対策のための助成金

SOS は、特定の絶滅危惧種やその生息地に的を絞った保全対策を現場で実施するための助成金を世界中の民間機関に提供します。

助成金の金額は、突然の災害が発生した場合の緊急対策への 1 万ドル程度から、より複雑なプロジェクトに対する数百万ドルまで及びます。

すべての種の保全プロジェクトに資金を提供することは不可能であるため、IUCN の種の保存委員会の主導で世界有数の専門家が優先順位を決定します。さらに、SOS では、自然保護分野で他の主要な組織が実施している既存の保全プログラムとの相乗効果も得られるようにします。

### ホホジロザメ

学名：*Carcharodon carcharias*

現状：絶滅危惧 II 類

脅威：ポーツフィッシング、  
商業的なトロフィーハンティング





## 種 — 新たな通貨として

種は生物多様性の基礎的な構成要素であり、すべての社会や文化で認められています。種は、生物多様性の現状と喪失を示す最も有効かつ便利な指標となります。何より重要なのは、一般の人々も種を理解し、重要視していることです。種は私たち人類が社会全体で大切にしている多様性そのものを象徴しています。種については 200 年以上前から幅広い研究が行われているため、全世界に膨大な量のデータが存在しており、これをまとめて標準化すれば、現在の絶滅危機を逆戻りさせるための統一された広範な戦略の策定に利用できるかもしれません。

SOS ではまず、新規ドナー、特に民間セクターやその他の非政府機関から 1000 万ドルを調達することを目標としています。これをどうやって実現するのでしょうか。

種を中心においた新しいコミュニケーションやキャンペーン、コミュニティの形成、資金調達を通じて、種を「新たな通貨」だと捉えていきます。

### マダガスカルウツボカズラ

学名：*Nepenthes madagascariensis*

現状：絶滅危惧 II 類

脅威：生育地の破壊





## 気運を高め、大胆に行動する

種が危機にある今、この協調プログラムを成功させる鍵は、多様かつ幅広いオーディエンスの中で、政治的に、文化的に、そして迅速に国際的な気運を盛り上げることにあります。

2010 年は、国際生物多様性年です。SOS は、この重要な年に立ち上げられました。2010 年 10 月に日本で開催される生物多様性条約第 10 回締約国会議が、SOS を周知させるための絶好の機会となります。

SOS のパートナー企業にとっては、そうしたグローバルな場で自然に対する自社の取り組み、そして従来型の保全コミュニティからさらに活動を広げる上で重要な役割を果たすことを表明するチャンスとなるでしょう。

SOS では、パートナー企業と共に、関連会議やメディアでのイベントを活用すると同時に独自の SOS イベントも開催し、ユニークなプロジェクトや成果を毎年世界に発信していきます。

### ワタボウシタマリン

学名： *Saguinus oedipus*

現状：絶滅危惧 IA 類

脅威：森林伐採



## 企業へのお願い

種の保全科学や現地での活動にかかわることはグローバルな注目を集め、企業の信頼性を高めることを意味します。SOS のパートナー企業にとっては貴重なベネフィットとなります。また、パートナーは、SOS のブランドと広報の場を活用したり、種の保全活動に政治的関心を向けさせるためのグローバル・ローカルのキャンペーンに参加することができます。絶滅の危機に対する世界的な関心を高めるために、SOS マルチメディアチームとともに独創的かつ革新的なコミュニケーション機会も得られます。





≫ SOS は、自然界におけるそれぞれの種の現状に応じた優先順位に従って対応すること、そしてすべての種群を取り上げることを目指しています。しかし、動植物の中には他の種よりもカリスマ性の高いものがあり、企業、スポーツチーム、場合によっては国や地域のブランドとなっているものも多くあります。パートナー企業は、自身にとって重要な特定の種に絞って投資を行い、これを通じてすべての生物の多様性を維持するという SOS の全体的な目的を支援することもできます。



写真提供

Chris van Swaay, De Vlinderstichting/Dutch Butterfly Conservation

## 救われる動植物と同じくらい多様なベネフィットを得る

パートナー企業になると、グローバルブランドや組織と共にこのエポックメイキングなプログラムに加わることになります。また、企業・団体イメージの向上だけでなく、保全活動の成果を通じてベネフィットを得られます。

### 信頼できる情報源

IUCN の種の保全における実績や世界銀行および GEF との連携により、SOS の活動が信頼性と持久力を備えていることは明白です。このプログラムのパートナー企業は、生物多様性保全のグローバルリーダーとして位置づけが強化されると同時に、パートナー自身の持続可能な戦略も支えられます。>> 信頼性

### 強力な情緒訴求

動植物に関するテーマは、どんな時代、どんな文化においても人々と自然界との普遍的なつながりを気づかせてくれます。SOS のパートナー企業は、特定の動植物や生息地を救うという斬新なテーマをコミュニケーションやマーケティングのアプローチに利用するまたとない機会を得られます。また、人々に希望をもたらすことができます。特定の種の喪失が避けられないものであったとしても、現状の流れを逆転させ、真の保全の成功をもたらすチャンスは十分にあるという説得力ある理由が得られます。>> 希望

#### NICKERL'S FRITILLARY BUTTERFLY (ヒョウモンモドキ属)

学名: *Melitaea aurelia*

現状: 絶滅危惧 II 類

脅威: 生息地の喪失





# 救われる動植物と同じくらい多様なベネフィットを得る

## 真の行動指向性

現場での種の保全を限られた期間に行うことが SOS の目的です。測定可能な結果によって効率的な対策が促され、さらにより多くの資金が投入されるため、成功が成功を生みます。>> 成果

## 成功のための計画

SOS のパートナー企業には、素晴らしいコミュニケーションの場、手段、機会が提供され、企業はそれぞれのニーズに応じてこれらを取り入れ、アダプテーションして活用することができます。関心を高めるための方法として、洗練されたウェブサイト、グローバル規模の広告キャンペーン、PR 戦略、著名人の参加などが現在計画されています。そのため、今後、SOS のパートナー企業はマスコミ及び市民の大きな注目や好意的な評判を得られます。>> 認知度

>> ご賛同、ご協力をお待ちしています。

ケイマンブルーイグアナ

学名： *Cyclura lewisi*

現状：絶滅危惧 IA 類

脅威：野良犬や野良猫による捕食





# SOS 設立パートナー



## ≫ 国際自然保護連合 (IUCN) について

IUCN は世界で最も長い歴史を持つ最大の環境保護団体であり、約 160 の国々から 1,000 以上の政府・NGO 会員、約 11,000 人の専門家ボランティアが参加しています。IUCN は、野生動植物種の世界的な保全状況に関する最も総合的な情報源である絶滅危惧種レッドリストを作成しています。種に関する活動では、世界のほぼすべての国に広がる約 7,500 人の専門家ボランティアで構成される科学ネットワーク、種の保存委員会 (SSC) の専門知識が活用されています。[www.iucn.org](http://www.iucn.org)、[www.iucn.org/species](http://www.iucn.org/species)、[www.iucnredlist.org](http://www.iucnredlist.org)

## ≫ 地球環境ファシリティ (GEF) について

GEF は地球環境の利益につながる各国の取り組みに資金と技術的支援を提供している、世界最大規模の国際基金です。GEF では、加盟国 179 カ国と国際機関、NGO、民間セクターが連携し、持続可能な開発活動を支援しながら地球環境問題に取り組んでいます。独立した金融機関として、生物多様性、気候変動、公海、土地の劣化、オゾン層、残留性化学物質などに関係するプロジェクトへのグラントを提供しています。[www.thegef.org](http://www.thegef.org)

## ≫ 世界銀行について

世界銀行は、途上国およびその国民の貧困削減を支援することを指命としています。また、貧困の克服、環境に配慮した成長の強化、個人にとっての機会や希望の創出など、包括的で持続可能なグローバル化を進めるような形で世界的な問題に取り組んでいます。現在、世銀は途上国における生物多様性のための最大の国際的資金源となっています。[www.worldbank.org](http://www.worldbank.org)

### ソデグロツル

学名：*Grus leucogeranus*

現状：絶滅危惧 IA 類

脅威：湿地や農地の開発



# SAVE OURSELVES SPECIES.

≫ ご協力をお待ちしています。

世界中の数千種の動植物種のため、われわれの住む世界のため、  
そしてわれわれ自身のために——時間は刻々と過ぎていきます。

詳しくは、[saveourspecies@iucn.org](mailto:saveourspecies@iucn.org) にお問い合わせください。

[www.SOSpecies.org](http://www.SOSpecies.org)

